



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月5日

上場会社名 株式会社タクマ 上場取引所 東

コード番号 6013 URL https://www.takuma.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南條 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経理部長 (氏名) 神吉 修児 (TEL) 06-6483-2610

四半期報告書提出予定日 2020年8月5日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	32,289	22.9	2,217	75.8	2,526	65.8	1,870	200.1
2020年3月期第1四半期	26,269	18.1	1,261	0.4	1,524	△8.1	623	△46.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,639百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △44百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	23.05	—
2020年3月期第1四半期	7.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	162,504	86,218	52.8
2020年3月期	163,498	85,040	51.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 85,822百万円 2020年3月期 84,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	18.00	31.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	0.4	10,800	12.5	11,500	11.6	8,400	12.8	103.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料の8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	83,000,000株	2020年3月期	83,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,858,014株	2020年3月期	1,857,894株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	81,142,046株	2020年3月期1Q	82,668,335株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
3. 予想補足資料	10
(1) セグメント別連結業績予想	10
(2) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費予想	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間				前年同期比増減額		
	受注高	売上高	営業損益	受注残高	受注高	売上高	営業損益
環境・エネルギー(国内)事業	69,700	27,203	2,776	379,819	49,407	6,270	917
環境・エネルギー(海外)事業	221	241	△ 53	713	△ 472	△ 79	11
民生熱エネルギー事業	4,978	3,212	△ 97	5,694	△ 34	△ 217	△ 13
設備・システム事業	2,602	1,682	95	4,372	1,031	△ 37	42
計	77,502	32,340	2,721	390,599	49,931	5,935	958
調整額	△ 194	△ 51	△ 503	△ 264	△ 134	84	△ 2
合計	77,308	32,289	2,217	390,334	49,797	6,020	956

当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、主に環境・エネルギー(国内)事業の増加により受注高は前年同期に比べ49,797百万円増加の77,308百万円、売上高は6,020百万円増加の32,289百万円となりました。

損益面においては、主に環境・エネルギー(国内)事業の増益により、前年同期に比べ営業利益は956百万円増加の2,217百万円、経常利益は前年同期に比べ1,002百万円増加の2,526百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失計上のあった前年同期に比べ1,247百万円増加の1,870百万円となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症による先行きの不透明感から、一部において設備投資意欲の減退等も見られましたが、当第1四半期連結累計期間の経営成績において、重要な影響は見られておりません。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[環境・エネルギー(国内)事業]

当第1四半期連結累計期間においては、引き続き堅調な需要の獲得に努め、ごみ処理プラントのDBO事業(建設・運営事業)を含む新設工事2件、基幹改良工事1件を受注し、受注高は前年同期に比べ49,407百万円増加の69,700百万円となりました。売上高は主に受注済みプラントの建設工事の進捗により前年同期に比べ6,270百万円増加の27,203百万円、営業利益は917百万円増加の2,776百万円となりました。

[環境・エネルギー(海外)事業]

当第1四半期連結累計期間においては、新設プラント案件の受注がなかったことから、受注高は前年同期に比べ472百万円減少の221百万円、売上高は79百万円減少の241百万円となりました。一方、営業損失は前年同期並みの53百万円となりました。

[民生熱エネルギー事業]

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症などによる先行きの不透明感から設備投資意欲の減退等も見られましたが、引き続き更新需要の獲得やメンテナンス受注の拡大に取り組んだ結果、受注高は4,978百万円、売上高は3,212百万円、営業損失が97百万円といずれも前年同期並みとなりました。

[設備・システム事業]

当第1四半期連結累計期間においては、建築設備、半導体産業用設備ともに堅調に推移し、受注高は前年同期に比べ1,031百万円増加の2,602百万円、売上高は前年同期並みの1,682百万円、営業利益は前年同期に比べ42百万円増加の95百万円となりました。

なお、環境・エネルギー(国内)事業においては、第2四半期以降も引き続きごみ処理プラントの建設工事や運営事業の受注を見込むほか、バイオマス発電プラントの受注も見込んでおります。また、受注済みプラントの建設工事が順調に進捗しているほか、民生熱エネルギー事業や設備・システム事業も堅調に推移しております。当社グループの業績において、新型コロナウイルス感染症による重要な影響は見られておらず、引き続き、今期目標の受注高180,000百万円、経常利益11,500百万円の達成に向けて鋭意取り組んで参ります。

但し、新型コロナウイルス感染症の影響について、これまで以上に事態が深刻化した場合、需要減退・発注延期に伴う新規受注の減少や受注済案件の納期延長に伴う売上の減少等の影響が生じる可能性があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は162,504百万円と前連結会計年度末に比べ993百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が16,503百万円、投資有価証券が1,721百万円の増加となったものの、受取手形及び売掛金が23,505百万円の減少となったことによるものであります。

負債は76,286百万円と前連結会計年度末に比べ2,172百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が1,137百万円、前受金が1,032百万円の減少となったことによるものであります。

純資産は86,218百万円と前連結会計年度末に比べ1,178百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が735百万円の増加となったことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は52.8%と前連結会計年度末に比べ1.0ポイントの増加となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の財政状態において、新型コロナウイルス感染症による重要な影響は見られておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

老朽化したごみ処理プラントの更新や延命化対策、エネルギー政策を背景としたバイオマス発電プラントの建設など当社グループの主要製品には引き続き需要が見込まれております。一方で、新型コロナウイルス感染症の感染者数が再び増加傾向にあるなど、経済活動への影響拡大や長期化も懸念されており、先行きの不透明感が強まっております。

このような状況の下、当社グループの2021年3月期の業績につきましては、当第1四半期連結累計期間において堅調に推移しており、2020年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループでは、通常の事業形態として、納期が連結会計年度末直前となる工事が多く、第4四半期にかけて進捗、引渡しが多くなる傾向にあり、業績においても第4四半期での売上高が他の四半期と比較して大きくなるなど季節的変動が大きいことから、業績管理については年次のみで行うこととしております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響が今後さらに拡大・深刻化した場合には、需要減退・発注延期に伴う新規受注の減少、受注済案件の納期延長に伴う売上の減少等の影響が生じる可能性があります。現時点では上記の見通しには織り込んでおりません。影響拡大により業績予想の修正が必要となった場合には、適時に開示してまいります。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,145	62,649
受取手形及び売掛金	73,349	49,843
たな卸資産	4,681	6,344
その他	2,812	3,475
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	126,967	122,294
固定資産		
有形固定資産	8,420	9,164
無形固定資産	275	267
投資その他の資産		
投資有価証券	15,629	17,350
その他	12,313	13,536
貸倒引当金	△108	△108
投資その他の資産合計	27,834	30,777
固定資産合計	36,530	40,210
資産合計	163,498	162,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,276	26,451
電子記録債務	14,680	16,785
短期借入金	550	652
未払法人税等	1,673	535
前受金	10,029	8,996
賞与引当金	3,153	1,644
製品保証引当金	164	74
工事損失引当金	3,401	3,151
関係会社整理損失引当金	833	771
その他	3,820	6,379
流動負債合計	67,582	65,443
固定負債		
長期借入金	262	140
役員退職慰労引当金	220	195
退職給付に係る負債	10,110	10,229
その他	282	278
固定負債合計	10,875	10,842
負債合計	78,458	76,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,818	3,818
利益剰余金	66,243	66,653
自己株式	△2,178	△2,178
株主資本合計	81,250	81,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,764	4,499
繰延ヘッジ損益	3	2
為替換算調整勘定	△2	2
退職給付に係る調整累計額	△373	△343
その他の包括利益累計額合計	3,392	4,161
非支配株主持分	397	396
純資産合計	85,040	86,218
負債純資産合計	163,498	162,504

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	26,269	32,289
売上原価	21,071	26,307
売上総利益	5,198	5,981
販売費及び一般管理費	3,936	3,764
営業利益	1,261	2,217
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	291	277
その他	33	54
営業外収益合計	329	337
営業外費用		
支払利息	4	3
持分法による投資損失	5	5
コミットメントフィー	7	7
その他	49	11
営業外費用合計	65	28
経常利益	1,524	2,526
特別損失		
和解金	371	-
投資有価証券売却損	213	-
その他	26	-
特別損失合計	611	-
税金等調整前四半期純利益	912	2,526
法人税等	341	657
四半期純利益	571	1,869
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△51	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	623	1,870

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	571	1,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△607	735
繰延ヘッジ損益	△10	△1
為替換算調整勘定	△20	5
退職給付に係る調整額	23	29
その他の包括利益合計	△615	769
四半期包括利益	△44	2,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12	2,639
非支配株主に係る四半期包括利益	△56	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した西知多ハイトラスト(株)を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,895	321	3,413	1,638	26,269	—	26,269
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	—	16	81	135	△135	—
計	20,933	321	3,429	1,720	26,405	△135	26,269
セグメント利益又は損失(△)	1,858	△65	△83	53	1,762	△501	1,261

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△501百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△538百万円及びその他の調整額37百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,163	241	3,205	1,679	32,289	—	32,289
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40	0	6	3	51	△51	—
計	27,203	241	3,212	1,682	32,340	△51	32,289
セグメント利益又は損失(△)	2,776	△53	△97	95	2,721	△503	2,217

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△503百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△539百万円及びその他の調整額35百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 予想補足資料

(1) セグメント別連結業績予想

(単位：百万円)

セグメントの名称	2021年3月期(予想)		
	受注高	売上高	受注残高
環境・エネルギー(国内)事業	152,500	110,500	379,322
環境・エネルギー(海外)事業	4,000	1,000	3,733
民生熱エネルギー事業	17,000	17,000	3,928
設備・システム事業	7,000	7,000	3,453
計	180,500	135,500	390,437
調整額	△ 500	△ 500	△ 122
合計	180,000	135,000	390,315

(2) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費予想

(単位：百万円)

	2020年3月期(実績)	2021年3月期(予想)	増減
設備投資額	1,564	2,600	1,035
減価償却費	917	950	32
研究開発費	1,154	1,300	145